

(2) 研修日程

科目名称	開講年次	開講期	単位数	時間数 (実時間数)	回数	実施方法	担当者
介護の基本Ⅰ	1	令和6年度 前期	2	30 (22.5)	15	講義	清水径子
介護の基本Ⅱ	1	令和6年度 後期	2	30 (22.5)	15	講義	清水径子
こころとからだのしくみ	2	令和7年度 前期	2	30 (22.5)	15	講義	稲田弘子
障害と老化の理解	2	令和7年度 後期	2	30 (22.5)	15	講義	稲田弘子
生活支援技術演習Ⅰ	2	令和7年度 前期	2	60 (45)	30	演習	清水径子
生活支援技術演習Ⅱ	2	令和7年度 後期	1	30 (22.5)	15	演習	清水径子
福祉住環境Ⅰ	3	令和8年度 前期	2	30 (22.5)	15	講義	三宮基裕
介護アセスメント	3	令和8年度 後期	2	30 (22.5)	15	講義	稲田弘子
福祉・医療制度	3	令和8年度 前期	2	30 (22.5)	15	講義	清水径子
認知症の理解	3	令和8年度 後期	2	30 (22.5)	15	講義	稲田弘子
合計			19	330 (247.5)			

※研修項目についてはシラバスに記載

【時間割】 1限) 9:00～10:30 2限) 10:45～12:15 3限) 13:10～14:40 4限) 14:55～16:25 5限) 16:40～18:10

科目名	介護の基本 I	授業コード		単位数	2
担当者(所属)	清水径子 (スポ)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1年)	必修・選択	選択(ただし初任者研修には必須)		
開講学期	前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシー No.	介護の仕事内容や多様な介護サービスを学び、介護の現場の実際を理解する(DP2,3)(CP1)。また、利用者の「尊厳の保持」、「自立支援」の考え方を理解するとともに、介護職員がどのような視点で介護を行っているかなどの基本的な介護の知識・技術を修得する(DP1)。				
学修目標	1) 介護職員初任者研修について理解する。 2) 介護職が行うサービスや仕事内容を説明できる。 3) 高齢者疑似体験を通して、高齢者の困りごとを列挙できる。 4) 尊厳の保持・自立支援などのキーワードについて説明することができる。 5) 介護職員の仕事内容や視点などを学び、説明できる。				
実務経験のある教員による教育	科目担当者は、介護福祉士・社会福祉士の有資格者として、5年以上の実務経験を基に、介護職員初任者研修に求められる知識・技術について講義する。				
評価方法	各回の授業で学習内容の確認テストを行い、学習成果を確認する。 講義時間をすべて満たした上で、学習への取り組み姿勢(確認テスト、課題の提出、授業での発言や質問)を20%、単位認定試験を80%として単位認定を行う。				
準備学習・履修上の注意等	介護職員初任者研修の修了を希望する場合は必修。 授業テキストは必ず持参し、該当ページを読んでくること。 欠席や遅刻、早退などがある場合は、研修時間に満たない内容が含まれるため、単位認定できない場合がある。 毎授業後、確認テストなどの復習、次回の授業内容の予習プリントを1時間程度行うこと。				
オフィスアワー	研究室前に掲示する。				
授業計画					
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担当	
1	1) 2)	オリエンテーション 職務の理解 初任者研修と仕事内容	講義	清水	
2	2)	職務の理解 多様なサービスの理解	講義・演習	清水	
3	2)	職務の理解 多様なサービスの理解	講義・演習	清水	
4	2)	職務の理解 介護職の仕事内容や働く現場の理解	講義・演習	清水	
5	3)	介護における尊厳の保持・自立支援 高齢者疑似体験	演習	清水	
6	4)	介護における尊厳の保持・自立支援 権利擁護と人権尊重	講義・演習	清水	
7	4)	介護における尊厳の保持・自立支援 ICF	講義・演習	清水	
8	4)	介護における尊厳の保持・自立支援 QOL・ノーマライゼーション	講義・演習	清水	
9	4)	介護における尊厳の保持・自立支援 虐待防止	講義・演習	清水	
10	4)	介護における尊厳の保持・自立支援 自立に向けた介護 自立支援	講義・演習	清水	
11	4)	介護における尊厳の保持・自立支援 自立に向けた介護 介護予防	講義・演習	清水	
12	4) 5)	介護の基本 介護職の役割、専門性と他職種との連携	講義・演習	清水	
13	4) 5)	介護の基本 介護職の職業倫理	講義・演習	清水	
14	4) 5)	介護の基本 介護における安全の確保とリスクマネジメント	講義・演習	清水	
15	4) 5)	介護の基本 介護職の安全	講義・演習	清水	
教科書(著者名) 出版社名 【ISBN】					
介護職員初任者研修テキスト第1巻 介護のしごとの基礎 第4版(中央法規) 【978-4-8058-8481-3】					
参考書(著者名) 出版社名 【ISBN】					

科目名	介護の基本Ⅱ	授業コード		単位数	2
担当者(所属)	清水径子(スポ)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1年)	必修・選択	選択(ただし初任者研修には必須)		
開講学期	後期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	介護現場である施設を見学することで、利用者や職員の実際の様子を知ることができる(DP1)。また、介護における利用者・家族・チームでのコミュニケーション方法などの基本的な介護の知識・技術を修得する(CP1、CP6)。				
学修目標	1) 介護職員の仕事内容や視点などを学び説明できる。 2) 車いす体験を通して、利用者の立場に立った介護の基本的な考え方を実践することができる。 3) 介護の現場を見学し、利用者や職員とコミュニケーションを図ることができる。 4) 介護におけるコミュニケーション技法について学び、実践できる。 5) 利用者の状況に応じたコミュニケーション技術を説明することができる。 6) チームでのコミュニケーション方法を理解し、説明できる。				
実務経験のある教員による教育	科目担当者は、介護福祉士・社会福祉士の有資格者として、5年以上の実務経験を基に、介護職員初任者研修に求められる知識、技術について講義する。				
評価方法	各回の授業で学習内容の確認テストを行い、学習成果を確認する。講義時間を満たした上で、学習への取り組み姿勢(確認テスト、課題の提出、授業での発言や質問)を20%、単位認定試験を80%として単位認定を行う。				
準備学習・履修上の注意等	介護職員初任者研修の修了を希望する場合は必修。 授業テキストは必ず持参し、該当ページを読んでくること。 欠席や遅刻、早退などがある場合は、研修時間に満たない内容が含まれるため、単位認定できない場合がある。 毎授業後、確認テストなどの復習、次回の授業内容の予習プリントを1時間程度行うこと。				
オフィスアワー	研究室前に掲示する。				
授業計画					
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担当	
1	1)	オリエンテーション 介護の基本 介護にかかわる専門職	講義	清水	
2	1)	介護の基本 感染対策	講義	清水	
3	1) 2)	介護の基本 車いす体験	演習	清水	
4	1) 3)	介護の基本 介護環境の特徴(施設見学先の下調べ)	講義・演習	清水	
5	3)	職務の理解 施設見学	施設見学	清水	
6	3)	職務の理解 施設見学	施設見学	清水	
7	1) 3)	職務の理解 施設見学のまとめ	演習	清水	
8	4)	介護におけるコミュニケーション	講義・演習	清水	
9	4) 5)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 利用者・家族とのコミュニケーション	講義・演習	清水	
10	5)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 視覚障害	講義・演習	清水	
11	5)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 聴覚障害	講義・演習	清水	
12	5)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 失語症	講義・演習	清水	
13	5)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 認知症	講義・演習	清水	
14	5)	介護におけるチームのコミュニケーション 記録・ハウレンソウ	講義・演習	清水	
15	5)	介護におけるチームのコミュニケーション 会議	講義・演習	清水	
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】					
介護職員初任者研修テキスト第1巻 介護のしごとの基礎 第4版(中央法規)【978-4-8058-8481-3】※介護の基本1と同様					
参考書(著者名) 出版社名【ISBN】					

科目名	こころとからだのしくみ	授業コード		単位数	2
担当者(所属)	稲田弘子	時間数	30	AL科目	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2年)	必修・選択	選択(ただし初任者研修には必須)		
開講学期	前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	介護をするには、「介護技術」と言うテクニックだけでなく、なぜそのように介護するのかという根拠となる、こころとからだに関する基礎知識が必要である。人体の機能や構造、疾病、心理面を理解し、介護実践を提供するにあたって必要な知識を修得する。(DP2.3, CP2.6)				
学修目標	1) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 2) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解				
実務経験のある教員による教育	科目担当者は、看護師・保健師の有資格者として、医療・保健・福祉分野で5年以上の実務経験がある。その経験に基づき介護職員初任者研修に必要な知識・技術の修得を目的とした講義を行う。				
評価方法	前半に中間試験(60%)、授業終了時に終了試験(40%)を実施する。学習への取り組み姿勢は参考程度とする。試験の日程等については、授業開始時に説明する。				
準備学習・履修上の注意等	介護職員初任者研修を取得する場合は必修である。 テキストは必ず持参し、予習してくること。また、授業後は、1時間程度復習をすること。				
オフィスアワー	研究室(B-534号)に掲示する。				
授 業 計 画					
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	2)	介護に関するからだのしくみの基礎的理解(循環器)	講義	稲田弘子	
2	2)	介護に関するからだのしくみの基礎的理解(呼吸器)	講義	稲田弘子	
3	2)	介護に関するからだのしくみの基礎的理解(脳神経系の解剖生理)	講義	稲田弘子	
4	2)	介護に関するからだのしくみの基礎的理解(脳血管疾患・左片麻痺)	講義	稲田弘子	
5	2)	介護に関するからだのしくみの基礎的理解(脳血管疾患・右片麻痺)	講義	稲田弘子	
6	2)	介護に関するからだのしくみの基礎的理解(パーキンソン病他脳神経系疾患)	講義	稲田弘子	
7	2)	介護に関するからだのしくみの基礎的理解(脊髄損傷他脳神経系疾患)	講義	稲田弘子	
8	2)	介護に関するからだのしくみの基礎的理解(骨格筋系の解剖生理と骨折)	講義	稲田弘子	
9	2)	介護に関するからだのしくみの基礎的理解(骨粗しょう症他骨格筋系疾患)	講義	稲田弘子	
10	2)	介護に関するからだのしくみの基礎的理解(消化器)	講義	稲田弘子	
11	2)	介護に関するからだのしくみの基礎的理解(糖尿病、腎・泌尿器系)	講義	稲田弘子	
12	2)	介護に関するからだのしくみの基礎的理解(腎・泌尿器系、)	講義	稲田弘子	
13	2)	介護に関するからだのしくみの基礎的理解(腎・泌尿器系、肝臓、血液)	講義	稲田弘子	
14	1)	介護に関するこころのしくみの基礎的理解	講義	稲田弘子	
15	1)	介護に関するこころのしくみの基礎的理解	講義	稲田弘子	
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】					
介護福祉士実務者研修テキスト 第4巻 こころとからだのしくみ 中央法規					
参考書(著者名) 出版社名【ISBN】					
(必要時プリントを配布する)					

科目名	障害と老化の理解	授業コード		単位数	2
担当者(所属)	稲田弘子	時間数	30	AL科目	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2年)	必修・選択	選択(ただし初任者研修には必須)		
開講学期	後期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	個々の障害(例えば視覚障害、内部障害など)に関して医学的・心理的側面を理解し、障害の特性に応じた生活支援のあり方を学修する。また、老化に焦点を当て、身体的・精神的・社会的老化や高齢者におこりやすい疾病や症状についての知識を修得する。(DP2.3, CP2.6)				
学修目標	1)障害の基礎なことを理解 2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援の理解 3)家族の心理、かかわり支援の理解 4)老化に伴うところとからだの変化と日常 5)高齢者と健康				
実務経験のある教員による教育	科目担当者は、看護師・保健師の有資格者として、医療・保健・福祉分野で5年以上の実務経験がある。その経験に基づき介護職員初任者研修に必要な知識・技術の修得を目的とした講義を行う。				
評価方法	障害の理解として6コマ目に筆記試験を実施する。100点中40点満点ではあるが、40点の60%を満たさない場合は再試験を実施する。終了試験(16回目)は、7~15コマ分の内容を試験する。100点中60点満点ではあるが、60%を満たさない場合は再試験を実施する。学習への取り組み姿勢は参考程度とする。詳細は、授業開始時に説明する。				
準備学習・履修上の注意等	介護職員初任者研修を取得する場合は必修である テキストは必ず持参し、予習しておくこと。また、授業後は、1時間程度復習をすること。 欠席や遅刻、早退などがある場合は、研修時間(介護職員初任者研修)に満たない場合があるため、単位認定できない場合がある。詳細は、授業開始時に説明する。				
オフィスアワー	研究室(B-534号)に掲示する。				
授業計画					
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担当	
1	1)	障害の基礎的理解	講義	稲田弘子	
2	2)	医学的側面、生活障害、心理・行動等の特徴と支援のあり方(身体障害)	講義	稲田弘子	
3	2)	医学的側面、生活障害、心理・行動等の特徴と支援のあり方(内部障害)	講義	稲田弘子	
4	2)	医学的側面、生活障害、心理・行動等の特徴と支援のあり方(内部障害)	講義	稲田弘子	
5	2)	医学的側面、生活障害、心理・行動等の特徴と支援のあり方(精神障害・難病)	講義	稲田弘子	
6	3)	家族の心理・かかわり支援の理解、中間試験	講義	稲田弘子	
7	4)	老化に伴うところとからだの変化と特徴	講義	稲田弘子	
8	4)	老化に伴うところとからだの変化と特徴	講義	稲田弘子	
9	4)	老化に伴うところとからだの変化と特徴	講義	稲田弘子	
10	5)	高齢者と健康(高齢者に多く見られる症状)	講義	稲田弘子	
11	5)	高齢者と健康(高齢者に多く見られる症状)	講義	稲田弘子	
12	5)	高齢者と健康(高齢者に多く見られる症状)	講義	稲田弘子	
13	5)	高齢者と健康(高齢者に多く見られる疾病)	講義	稲田弘子	
14	5)	高齢者と健康(高齢者に多く見られる疾病)	講義	稲田弘子	
15	5)	高齢者と健康(高齢者に多く見られる疾病)	講義	稲田弘子	
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】					
介護福祉士実務者研修テキスト 第4巻 こころとからだのしくみ 中央法規					
参考書(著者名) 出版社名【ISBN】					
(必要時プリントを配布する)					

科目名	生活支援技術演習 I	授業コード		単位数	2
担当者(所属)	清水 啓子	時間数	60	AL科目	○
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2年)	必修・選択	選択(ただし初任者研修には必須)		
開講学期	前期	授業形態	演習		
授業の概要・一般目標・対応するポリシー No.	介護職員初任者研修の指定科目として行います。介護の基本的な考え方を学び、移動・移乗、睡眠、食事、排泄、整容に関連した介護技術を学びます(DP2, 3, 4)(CP1)。また、利用者の「尊厳の保持」、「自立支援」の考え方を理解した上で、一人ひとりの状況に応じた介護の知識・技術を修得する(DP1)(CP1)。				
学習目標	1) 介護とは何か、どのような変遷をたどっているのかを理解し、説明できる。 2) 介護に関する心理学を学び、こころのしくみの基礎的な知識が理解できる。 3) 介護の必要性と、介護に関連するところからだのしくみを理解する。 4) 利用者本人の力を活用し、介護を行うための技術を学び、実践できる。 5) 心身機能の低下が介護に及ぼす影響について説明できる。 6) 生活を継続していくための家事(調理)の重要性について学び、実践できる。				
実務経験のある教員による教育	科目担当者は、介護福祉士・社会福祉士の有資格者として、5年以上の実務経験を基に、介護職員初任者研修に求められる知識、技術について講義する。				
評価方法	授業で学習内容の確認テスト及び実技試験を行い、学習成果を確認する。 単位習得は、実技試験に合格したものに限り、学習への取り組み姿勢(確認テスト、課題の提出、授業での発言や質問)を20%、単位認定試験を80%として単位認定を行う。				
準備学習・履修上の注意等	介護職員初任者研修の修了を希望する場合は必修。 授業テキストは必ず持参し、該当ページを読んでおくこと。 毎授業後、復習を1時間程度行うこと。				
オフィスアワー	研究室前に掲示する。				
授業計画					
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担当	
1	1)	オリエンテーション・介護の基本的な考え方 理論	講義	清水	
2	2)	介護の基本的な考え方 こころのしくみ	講義	清水	
3	3)	移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義	清水	
4	3)4)5)	移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
5	3)4)5)	移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
6	3)4)5)	移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
7	3)	睡眠に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義	清水	
8	3)4)5)	睡眠に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
9	3)4)5)	睡眠に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
10	3)4)5)	睡眠に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
11	3)	食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義	清水	
12	3)4)5)	食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
13	3)4)5)	食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
14	3)4)5)	食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
15	6)	生活と家事 調理	演習	清水	
16	6)	生活と家事 調理	演習	清水	
17	6)	生活と家事 調理	演習	清水	
18	6)	生活と家事 調理	演習	清水	
19	3)	排泄に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義	清水	
20	3)4)5)	排泄に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
21	3)4)5)	排泄に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
22	3)4)5)	排泄に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
23	3)4)5)	排泄に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
24	3)4)5)	排泄に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
25	3)4)	入浴・清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
26	3)4)5)	入浴・清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
27	3)4)5)	入浴・清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
28	3)4)5)	入浴・清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
29	3)4)	整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
30	3)4)5)	整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	講義・演習	清水	
教科書(著者名) 出版社名 【ISBN】					
介護職員初任者研修テキスト 第2巻自立に向けた介護の実際 中央法規					
参考書(著者名) 出版社名 【ISBN】					

科目名	生活支援技術演習Ⅱ	授業コード		単位数	1
担当者(所属)	清水径子	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2年)	必修・選択	選択(ただし初任者研修には必須)		
開講学期	後期	授業形態	演習		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	介護職員初任者研修の指定科目として行います。生活援助・家事援助に関連した知識を学び、死にゆく人に関連した終末期の介護技術を学びます(DP2,3,4)(CP1)。また、利用者の「尊厳の保持」、「自立支援」の考え方を理解した上で、生活支援技術演習Ⅰで学んだ知識・技術をもとに、一人ひとりの状況に応じた介護の知識・技術を修得する(DP1)(CP1)。				
学修目標	1)生活を継続していくための家事援助(洗濯・掃除・被服の補修)の重要性について学び、実践できる。 2)終末期の身体機能の変化について理解し、状況に合わせた対応を説明できる 3)死に直面したときの心理状況について学び、こころの変化の受け止め方を理解する。 4)事例を通じて、利用者本人の力を活用し、利用者にとって適切な介護技術を考え、実践できる。 5)介護の基本・生活支援技術演習の講義・演習を通して介護の知識・技術を振り返ることができる。				
実務経験のある教員による教育	科目担当者は、介護福祉士・社会福祉士の有資格者として、5年以上の実務経験を基に、介護職員初任者研修に求められる知識・技術について講義する。				
評価方法	授業で学習内容の確認テスト及び実技試験を行い、学習成果を確認する。 単位習得は、実技試験に合格したものに限り。 学習への取り組み姿勢(確認テスト、課題の提出、授業での発言や質問)を20%、単位認定試験を80%として単位認定を行う。				
準備学習・履修上の注意等	受講するためには、「介護の基本Ⅰ・Ⅱ」「生活支援技術演習Ⅰ」をすべて履修していることを条件とする。 介護職員初任者研修の修了を希望する場合は必修。 授業テキストは必ず持参し、該当ページを読んでくること。 毎授業後、復習を1時間程度行うこと。				
オフィスアワー	研究室前に掲示する。				
授 業 計 画					
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)	生活と家事 家事援助・そうじ	講義・演習	清水	
2	1)	生活と家事 洗濯・衣服の整理	講義・演習	清水	
3	1)	生活と家事 被服の補修	講義・演習	清水	
4	2)3)	死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	講義	清水	
5	2)3)	死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	講義	清水	
6	4)	総合生活支援技術演習	演習	清水	
7	4)	総合生活支援技術演習	演習	清水	
8	4)	総合生活支援技術演習	演習	清水	
9	4)	総合生活支援技術演習	演習	清水	
10	4)	総合生活支援技術演習	演習	清水	
11	4)	総合生活支援技術演習	演習	清水	
12	4)	総合生活支援技術演習	演習	清水	
13	5)	振り返り	演習	清水	
14	5)	振り返り	演習	清水	
15	5)	振り返り	演習	清水	
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】					
介護職員初任者研修テキスト 第2巻自立に向けた介護の実際 中央法規 ※生活支援技術演習Ⅰと同様					
参考書(著者名) 出版社名【ISBN】					

科目名	福祉住環境 I	授業コード		単位数	2
担当者(所属)	三宮基裕	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3年)	必修・選択	選択(ただし初任者研修には必須)		
開講学期	前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシー No.	<p>【授業の概要】福祉専門職として住環境整備の点から支援が展開できるようになるために、日本の住宅の問題、住宅改修のプロセスと具体的な改修方法、そして関係する法律や助成制度について学ぶ。</p> <p>【一般目標(GIO)】身体に障害のある方や加齢等により心身機能が低下した方が住宅で生活する時の生活環境上の問題を認識し、将来、福祉職として必要となる生活環境整備の基本的知識を修得する。</p>				
学修目標	<p>1)住環境整備の意義を理解し、住環境整備における福祉職の役割を説明できる。</p> <p>2)住環境整備に関わる基本的な用語を理解し、説明ができる。</p> <p>3)住環境整備のプロセスとそれに関わる専門職を理解し、それぞれの役割が説明できる。</p> <p>4)関連する法制度を理解し、制度活用のプロセスが説明できる。</p> <p>5)建築図面を読み取り簡単な平面図が描ける。</p> <p>6)高齢者や障がいのある方の生活において生じる日本住宅の問題が列挙できる。</p> <p>7)住環境整備の方法が列挙できる。</p> <p>8)住環境整備の方法を立案できる。</p>				
実務経験のある教員による教育					
評価方法	各回の授業で学習内容の確認テストを行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、授業への参加)を30%、学期末の単位認定試験を70%として、単位認定を行う。				
準備学習・履修上の注意等	次回講義の内容をシラバスで確認し、参考書等の該当箇所を予め読んで予習しておくこと。復習として、毎時間の学習内容をノートにまとめておくこと。※試験は直筆のノートのみ持ち込みを認める。				
オフィスアワー	火・水 15:00~17:00 研究室				
授業計画					
回数	SB0s No.	授業内容	授業方法	担当	
1	1)	住環境整備の意義	講義	三宮	
2	2)	ノーマライゼーションとリハビリテーション	講義	三宮	
3	2)	バリアフリーとユニバーサルデザイン	講義	三宮	
4	3)	住環境整備のプロセス	講義	三宮	
5	4)	介護保険制度と住環境整備	講義	三宮	
6	5)	住宅図面の読み取りと作図法	講義	三宮	
7	6)	日本住宅の問題と住環境整備	講義	三宮	
8	4)5)7)	移動空間の整備①(移動に関わる福祉用具)	講義	三宮	
9	4)5)7)	移動空間の整備②(アプローチ、玄関、廊下、階段)	講義	三宮	
10	4)5)7)	トイレ空間の整備①(排泄に関わる福祉用)	講義	三宮	
11	4)5)7)	トイレ空間の整備②(手すり、段差解消、便座、スペース)	講義	三宮	
12	4)5)7)	浴室空間の整備①(入浴に関わる福祉用具)	講義	三宮	
13	4)5)7)	浴室空間の整備②(手すり、段差解消、浴槽)	講義	三宮	
14	5)7)8)	住環境整備の提案①(サニタリー空間の環境整備)	講義	三宮	
15	5)7)8)	住環境整備の提案②(戸建住宅の環境整備)	講義	三宮	
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】					
使用しない					
参考書(著者名) 出版社名【ISBN】					
改訂4版 福祉住環境コーディネーター3級公式テキスト(東京商工会議所編) 東京商工会議所【978-4924547599】					

科目名	介護アセスメント	授業コード		単位数	2
担当者(所属)	稲田弘子	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3年)	必修・選択	選択(ただし初任者研修には必須)		
開講学期	後期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	介護過程とは、介護の専門職として介護実践の過程を理論的に考え、根拠を持ち、過程の道筋を明文化し実践することである。利用者にニーズに合った適切な介護を提供するため、介護過程の意義やプロセスとアセスメント法についての知識を修得する。(DP3.4, CP2.6)				
学修目標	1) 介護過程の基礎的理解(意義、プロセス、ニーズ、アセスメント等)				
実務経験のある教員による教育	科目担当者は、看護師・保健師の有資格者として、医療・保健・福祉分野で5年以上の実務経験がある。その経験に基づき介護職員初任者研修に必要な知識・技術の修得を目的とした講義を行う。				
評価方法	筆記試験80%、演習課題20%として評価する。 演習課題は提出状況・内容にて評価する。 学習への取り組み姿勢は参考程度とする。詳細は授業開始時に説明する。				
準備学習・履修上の注意等	介護職員初任者研修を取得する場合は必修である。 テキストは必ず持参し、予習してくること。また、授業後は、1時間程度復習をすること。				
オフィスアワー	研究室(B-534号)に掲示する。				
授業計画					
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担当	
1	1)	アセスメントとは	講義	稲田弘子	
2	1)	事例からアセスメントについて考える	講義	稲田弘子	
3	1)	スクリーニングアセスメントについて	講義	稲田弘子	
4	1)	フォーカスアセスメントについて	講義	稲田弘子	
5	1)	ニーズについて	講義	稲田弘子	
6	1)	食事介護のアセスメント	講義	稲田弘子	
7	1)	食事介護のアセスメント	講義	稲田弘子	
8	1)	食事介護のアセスメント	講義・演習	稲田弘子	
9	1)	排泄介護のアセスメント	講義	稲田弘子	
10	1)	排泄介護のアセスメント	講義	稲田弘子	
11	1)	排泄介護のアセスメント	講義・演習	稲田弘子	
12	1)	保清・整容のアセスメント	講義	稲田弘子	
13	1)	保清・整容のアセスメント	講義・演習	稲田弘子	
14	1)	介護目標、介護計画、実施・評価について	講義	稲田弘子	
15	1)	就業への備えと研修終了後における継続的な研修	講義	稲田弘子	
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】					
ケア現場でいかせる介護アセスメントのきほん MCメディカル					
参考書(著者名) 出版社名【ISBN】					
(必要時プリントを配布する)					

科目名	福祉・医療制度	授業コード		単位数	2
担当者(所属)	清水径子	時間数	30	AL科目	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3年)	必修・選択	選択(ただし初任者研修には必須)		
開講学期	前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	介護現場で必要とされる介護・福祉サービスを理解するために、高齢者および障害者に関する各種制度の概要を学び、基礎的な知識を修得します(DP3)。また、医療との連携についても看護師やリハビリ専門職などの役割や仕事内容を確認し、連携の実際を学びます(DP1, 2, 3, 4)(CP1)。				
学修目標	1) 高齢者および障害者に関する各種制度の基本的なしくみを理解し、説明できる。 2) 医療行為の実情について理解し、医療職の役割と連携について理解できる。 3) リハビリテーションの理念と考え方について説明できる。				
実務経験のある教員による教育	科目担当者は、介護福祉士・社会福祉士の有資格者として、5年以上の実務経験を基に、介護職員初任者研修に求められる知識、技術について講義する。				
評価方法	各回の授業で学習内容の確認テストを行い、学習成果を確認する。 学習への取り組み姿勢(確認テスト、課題の提出、授業での発言や質問)を20%、単位認定試験を80%として単位認定を行う。				
準備学習・履修上の注意等	介護職員初任者研修の修了を希望する場合は必修。 授業テキストは必ず持参し、該当ページを読んてくること。 毎授業後、復習を1時間程度行うこと。				
オフィスアワー	研究室前に掲示する。				
授 業 計 画					
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)	オリエンテーション・介護保険制度	講義	清水	
2	1)	介護保険制度	講義・演習	清水	
3	1)	介護保険制度	講義・演習	清水	
4	1)	介護保険制度	講義・演習	清水	
5	1)	介護保険制度	講義・演習	清水	
6	1)	医療保険制度	講義	清水	
7	1)	年金保険制度	講義・演習	清水	
8	1)	成年後見制度	講義	清水	
9	1)	障害者総合支援法	講義	清水	
10	1)	障害者総合支援法	講義・演習	清水	
11	1)	障害者総合支援法	講義・演習	清水	
12	1)	障害者総合支援法	講義・演習	清水	
13	2)3)	医療との連携とリハビリテーション	講義・演習	清水	
14	2)3)	医療との連携とリハビリテーション	講義・演習	清水	
15	2)3)	医療との連携とリハビリテーション	講義・演習	清水	
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】					
介護職員初任者研修テキスト第1巻 介護のしごとの基礎 第4版(中央法規)【978-4-8058-8481-3】※介護の基本1・IIと同様					
参考書(著者名) 出版社名【ISBN】					

科目名	認知症の理解	授業コード		単位数	2
担当者(所属)	稲田弘子	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3年)	必修・選択	選択(ただし初任者研修には必須)		
開講学期	後期	授業形態	講義・演習		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	我が国における認知症ケアは、パーソンセンタードケアつまりその人らしさを大切にしたケアのあり方が主になっている。認知症高齢者が施設や在宅でその人らしく生活できるよう、認知症に関して、動向や医療的なこと、特性やケアのあり方、家族への支援のあり方、社会資源、予防について理など基本的な認知症ケアの知識を修得する。(DP2.3, CP2.6)				
学修目標	1) 認知症を取り巻く状況 2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 3) 認知症に伴うこととからだの変化と日常生活 4) 家族への支援				
実務経験のある教員による教育	科目担当者は、看護師・保健師の有資格者として、医療・保健・福祉分野で5年以上の実務経験がある。その経験に基づき介護職員初任者研修に必要な知識・技術の修得を目的とした講義を行う。				
評価方法	学期末の単位認定試験70%、学習への取り組み姿勢(授業態度、レポート内容等)30% *学習への取り組み姿勢 DVD視聴後、課題レポートの期限内提出と内容で評価する。グループワーク時は、積極的に参加すること。 <small>詳細は授業開始前に説明する</small>				
準備学習・履修上の注意等	介護職員初任者研修を取得する場合は必修である。 テキストは必ず持参し、予習していただくこと。また、授業後は、1時間程度復習をすること。				
オフィスアワー	研究室(B-534号)に掲示する。				
授 業 計 画					
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)	認知症を取り巻く状況(概要、動向、理念)	講義	稲田弘子	
2	2)	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理(アルツハイマー型認知症)	講義	稲田弘子	
3	2)	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理(アルツハイマー型認知症・脳血管性認知症)	講義	稲田弘子	
4	2)	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理(レビー小体型認知症・前頭側頭型認知症)	講義	稲田弘子	
5	2)	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理(正常圧水頭症他)	講義	稲田弘子	
6	2) 3)	認知症の人の理解(9の法則)	講義	稲田弘子	
7	2) 3)	認知症に伴うこととからだの変化(認知症の人からみた視点)	講義・演習	稲田弘子	
8	2) 3)	認知症介護の基本(竹内先生より)	講義	稲田弘子	
9	2) 3)	認知症介護の実際(パーソンセンタードケア・ユマニチュード)	講義	稲田弘子	
10	2) 3)	認知症介護の実際(カンフォータブルケア)	講義	稲田弘子	
11	2) 3)	認知症介護の総括(「ぼけと向き合う日々」DVDより)	講義・演習	稲田弘子	
12	4)	家族への支援とレスパイトケア	講義・SDG	稲田弘子	
13	2) 3)	若年性認知症と社会的支援について	講義・SDG	稲田弘子	
14	2) 3)	MCI、認知症予防について	講義	稲田弘子	
15	2) 3)	身体拘束について	講義	稲田弘子	
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】					
介護福祉士実務者研修テキスト 第4巻 こころとからだのしくみ 中央法規					
参考書(著者名) 出版社名【ISBN】					
(必要時プリントを配布する)					